

令和3年9月 発地別延べ宿泊者数割合

(単位：人泊、%)

【国内】

	県内	福岡県	その他九州	四国	中国	近畿	中部	関東	東北・北海道	国内計
令和3年9月(速報値)	29,151	58,165	22,142	2,340	8,454	13,084	4,424	23,263	1,391	162,414
令和2年9月(速報値)	46,538	87,294	34,926	3,879	12,748	16,570	6,257	20,388	1,676	230,276
前年同月比	62.6	66.6	63.4	60.3	66.3	79.0	70.7	114.1	83.0	70.5
2019年9月(確報値)	43,776	93,021	59,642	8,834	26,390	28,427	14,027	45,887	4,799	324,803
2019年同月比	66.6	62.5	37.1	26.5	32.0	46.0	31.5	50.7	29.0	50.0
2018年9月(確報値)	45,107	79,361	52,618	9,642	21,781	27,708	11,757	45,201	3,852	297,027
2018年同月比	64.6	73.3	42.1	24.3	38.8	47.2	37.6	51.5	36.1	54.7
令和3年8月(速報値)	49,747	78,714	28,863	3,637	14,125	18,228	6,835	28,430	1,570	230,149
前月比	58.6	73.9	76.7	64.3	59.9	71.8	64.7	81.8	88.6	70.6

【国外】

	韓国	中国	香港	台湾	タイ	その他アジア	欧米豪その他	外国小計
令和3年9月(速報値)	*	*	*	*	*	*	*	188
令和2年9月(速報値)	17	70	0	0	10	73	144	314
前年同月比	*	*	*	*	*	*	*	59.9
2019年9月(確報値)	6,128	6,441	5,786	10,707	961	2,493	3,455	35,971
2019年同月比	*	*	*	*	*	*	*	0.5
2018年9月(確報値)	37,134	6,218	5,152	8,623	537	1,740	1,589	60,993
2018年同月比	*	*	*	*	*	*	*	0.3
令和3年8月(速報値)	*	*	*	*	*	*	*	863
前月比	*	*	*	*	*	*	*	21.8

* 令和2年、令和3年発地別宿泊者数は、サンプル数が過小のため表示しない

【全体】

	合計
令和3年9月(速報値)	162,602
令和2年9月(速報値)	230,590
前年同月比	70.5
2019年9月(確報値)	360,774
2019年同月比	45.1
2018年9月(確報値)	358,020
2018年同月比	45.4
令和3年8月(速報値)	231,012
前月比	70.4

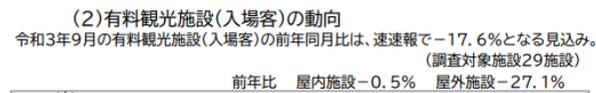
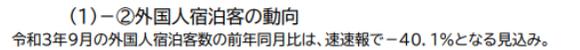
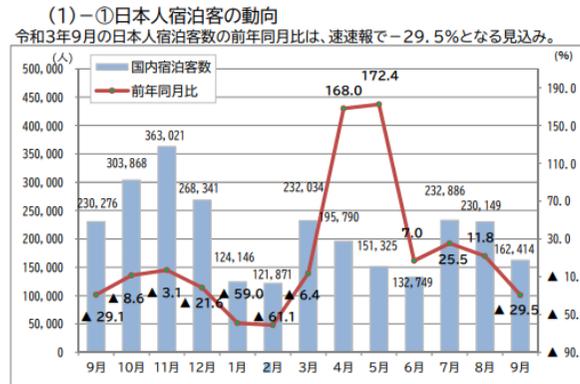
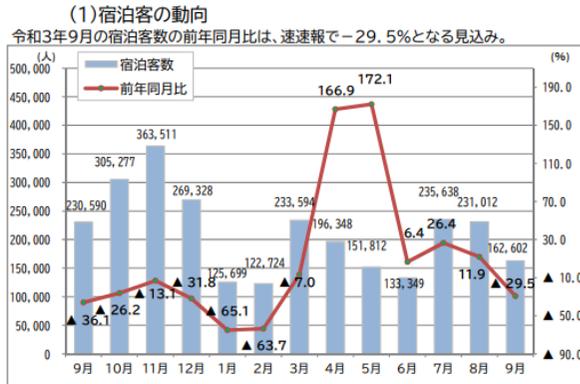
①R3年1月調査から、宿泊客数調査の対象を従業員数10人以上の全施設(186施設)に変更しました。
この変更に伴い、R2年、2019年の公表値についても同規模施設数の推計値に再計算しています。
※発地別延べ宿泊者数は、速報の公表時に大きく変更されることがあります。

出典：大分県観光統計調査

<傾向・分析>

- ・国内の延べ宿泊者数は前年同月比70.5%。GOTOトラベルキャンペーン実施中の昨年と比べ、第5波の影響で各地で緊急事態宣言が出ている今年9月は低水準となった。前々年同月比は50.0%、前々々年同月比は54.7%にとどまる。
- ・国内の延べ宿泊者数の前月比は70.6%。8月から9月にかけて全国的に新型コロナウイルス感染者数が急増し、各地で緊急事態宣言やまん延防止等重点措置がとられた影響と見られる。県内においても、感染者の増加に伴い8月17日にはステージ3へ引き上げ、「新しいおおいの旅割」も新規予約受付を再度中止としたため、県内宿泊者数も前月比58.6%と減少。9月23日より旅割再開となったが、割引適用は9月27日からのため旅割の影響による県内宿泊者の増加は10月以降になると見られる。
- ・国外の延べ宿泊者数は、前月比21.8%。東京オリンピック・パラリンピック関連の滞在者等の影響もあり増加した前月・前々月に比べると大幅に減少。前年同月比は59.9%、前々年比0.5%、前々々年同月比0.3%。依然とした入国制限の影響で低水準が続く。
- ・全体の延べ宿泊者数は前年同月比70.5%。前々年同月比は45.1%、前々々年同月比は45.4%と、コロナ禍前の水準からは半数以下にとどまる。

令和3年9月の宿泊客等の動向 (令和2年9月～12月速報、令和3年1月～9月速報)



※R3年1月調査から、宿泊客数調査の対象を従業員数10人以上の全施設(186施設)に変更しました。この変更に伴い、R2年の公表値についても同規模施設数の推計値に再計算しています。

※観光施設の前年同月比は、休業・未提出施設を除いて算出しているため、過去に公表している値と比較すると一致しない場合があります。

出典：大分県観光統計調査

<傾向・分析>

- 日本人宿泊客は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が解除された昨年6月から徐々に回復、7月からのGoToトラベルキャンペーン実施に伴い増加するも、秋頃からの感染者数の増加、12月にGoToトラベルの一時停止や1月には一部地域に緊急事態宣言が発令されたことなどにより再び減少に転じる。その後、3月に緊急事態宣言の全面解除や、県民向け「新しいおおいの旅割」等の影響で増加したが、4月に入り全国で感染者数が増加、全国各地で「まん延防止等重点措置」の適用や緊急事態宣言が発令され、5月も更に拡大・延長し、6月まで宣言は延長。6月末に9都道府県にて緊急事態宣言が解除されたのち、7月には増加に転じるものの、7月末からの感染者数の増加や緊急事態宣言地域の拡大などにより8月・9月の宿泊客数は減少傾向が続く。
- 有料観光施設の動向については前年同月比82.4%と減少。8月～9月にかけて県内感染者数が急増し、9月に入り感染者数は減少傾向に転じたものの夏休み期間中の8月と比べても減少に転じた。
- 外国人宿泊客は、東京オリンピック・パラリンピック関連の滞在者等の影響により増加した前月に比べると大幅に減少。入国制限は継続されているため、観光目的での宿泊客数は依然として低水準が続く。
- 全体においては、未だインバウンドの回復が見られない中、国内宿泊者の動きがそのまま反映されたかたち。